



  
Ecoアクション21  
認証番号0000010

2023年度 

# エコアクション21 環境経営レポート

活動期間：2023年4月～2024年3月



## 段ボール事業部 戸畑工場

発行日：2024年5月20日

 太陽インダストリー株式会社



# 1) 目次

- 1) 目次
- 2) 全組織の概要
- 3) 認証・登録範囲
- 4) 段ボール事業部 所在地及び対象工場
- 5) 対象事業活動内容
- 6) 段ボール事業部 取扱い商品①
- 7) 段ボール事業部 取扱い商品②
- 8) 事業の規模
- 9) 段ボール事業部 組織体制
- 10) 環境経営方針
- 11) EA21実施体制
- 12) EA21役割・責任・権限
- 13) 過去3年の環境負荷状況（2021年～2023年）①
- 14) 過去3年の環境負荷状況（2021年～2023年）②
- 15) 2023年度：環境経営目標の達成状況（全体）
- 16) 二酸化炭素排出量の削減〔電気使用量の削減〕 2023年取組内容及び評価
- 17) 二酸化炭素排出量の削減〔ガソリン使用量の削減〕 2023年取組内容及び評価
- 18) 二酸化炭素排出量の削減〔軽油使用量の削減〕 2023年取組内容及び評価
- 19) 水使用量の削減 2023年取組内容及び評価
- 20) 産業廃棄物の削減〔一般ゴミの削減〕 2023年取組内容及び評価
- 21) 産業廃棄物の削減 2023年取組内容及び評価
- 22) 投入資源の削減 2023年取組内容及び評価
- 23) 環境に配慮した包装設計 2023年取組内容及び評価
- 24) 環境に配慮した包装設計【改善事例】①
- 25) 環境に配慮した包装設計【改善事例】②
- 26) 2024年度：環境経営目標（全体）
- 27) 2024年度：環境経営計画
- 28) 緊急事態対応訓練
- 29) 継続的環境活動
- 30) 外部コミュニケーション
- 31) 過去の環境設備投資①
- 32) 過去の環境設備投資②
- 33) 環境関連法規への違反・訴訟の有無
- 34) 代表者による全体の評価と見直し・指示

## 2) 全組織の概要

### 1. 組織の概要

#### 事業所名及び所在地

事業所名	所在地	人員
◆ <b>本 社</b> 事業内容	北九州市小倉南区湯川4丁目1-1 組織全体の総務・経理・人事等の管理業務	6
◆ <b>段ボール事業部</b> 戸畑工場 製品在庫保管倉庫 中津新田工場 大分事業所 事業内容	所在地 福岡県北九州市戸畑区川代2丁目3-7 福岡県京都郡苅田町港町22 大分県中津市大字大新田425-2 大分県臼杵市大字武山1894-1 段ボールケースの製造販売及び包装資材の販売	人員 47 9 15 16
◆ <b>構内事業部</b> 小倉事業所 舞ヶ丘事業所 中津事業所 事業内容	所在地 TOTO株式会社 本社工場内 TOTO株式会社 小倉物流センター内 TOTOサニテクノ株式会社 中津工場内 衛生陶器製品の製造及び梱包出荷業務の請負	人員 37 48 131
◆ <b>化成品事業部</b> 中津工場 中津新田工場 事業内容	所在地 大分県中津市大字上如水1342 大分県中津市大字大新田425-2 人工大理石・樹脂成型品・FRP製品の製造	人員 80 40

全従業員数：429名（2024年3月末）

### 3) 認証・登録範囲

#### ① 対象事業所

事業所名：太陽インダストリー株式会社 段ボール事業部  
戸畑工場 / 製品在庫保管倉庫

代表者名：段ボール事業部 戸畑工場 事業部長 奥 憲明

環境管理責任者：橋本 和尊

環境事務局：貫 忠宏

連絡先：TEL (093) 884-2135

FAX (093) 884-2130

所在地 1) 戸畑工場

〒804-0071 福岡県北九州市戸畑区川代2丁目3番7号

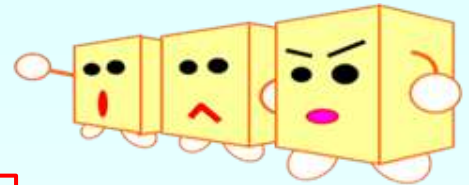
2) 製品在庫保管倉庫

〒800-0315 福岡県京都郡苅田町港町22



北九州市環境にやさしい事業所  
2022年 表彰

### 4) 段ボール事業部 所在地及び対象工場



戸畑工場



製品在庫保管倉庫

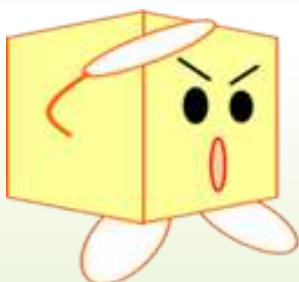


戸畑工場：北九州市戸畑区川代2-3-7

製品在庫保管倉庫：福岡県京都郡苅田町港町22

### 5) 対象事業活動内容

段ボールケースの製造販売及び  
包装資材の販売



# 6) 段ボール事業部 取扱い商品①

パツと完成『パツと！ベッド！』Mサイズ

2021年6月16日に放送されました

九州朝日放送株式会社 KBC 「シリタカ」にて「パツと！ベッド！」が取り上げられました



\* 表彰・知的財産権 \* ① 自転車部品包装 ② ロック機能付き組立箱

**1**

2018 日本パッケージングコンテスト (http://www.jpnpackaging.com/) 各賞技術賞 (ロジスティクス賞) 受賞

GOOD PACKAGING

本陽インダストリー株式会社 確かな技術が評価されました

本陽インダストリー株式会社

**2**

賞状

包装デザイン賞

「ロック機能付組立箱」

本陽インダストリー株式会社 賞状

本陽インダストリー株式会社

お客様にご提案します。環境問題・コストダウン・合理化。



食品用梱包箱



工業用梱包箱



通函用段ボールパレット



その他(包装副資材)



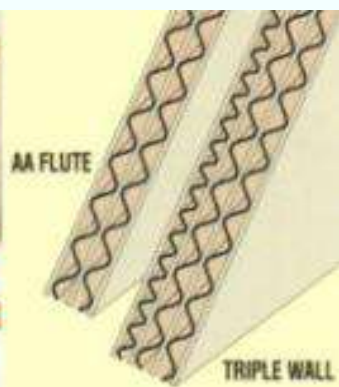
その他(梱包箱)



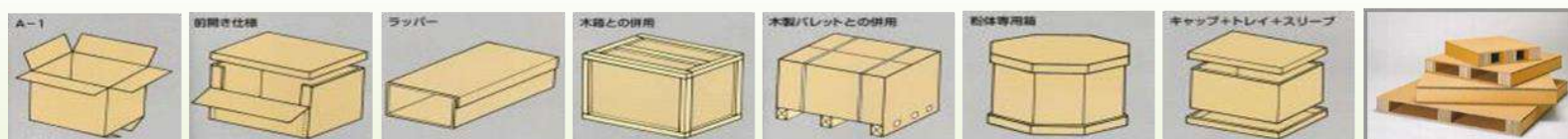
包装改善 梱包箱(自動車関係) プロペラシャフト

重量物包装

重量物包装の革命児、トリプルウォール・AAフルート  
創造と技術で”包装”未来へチャレンジ!  
多彩なバリエーション



強度・用途に応じて色々な形態が選べます。



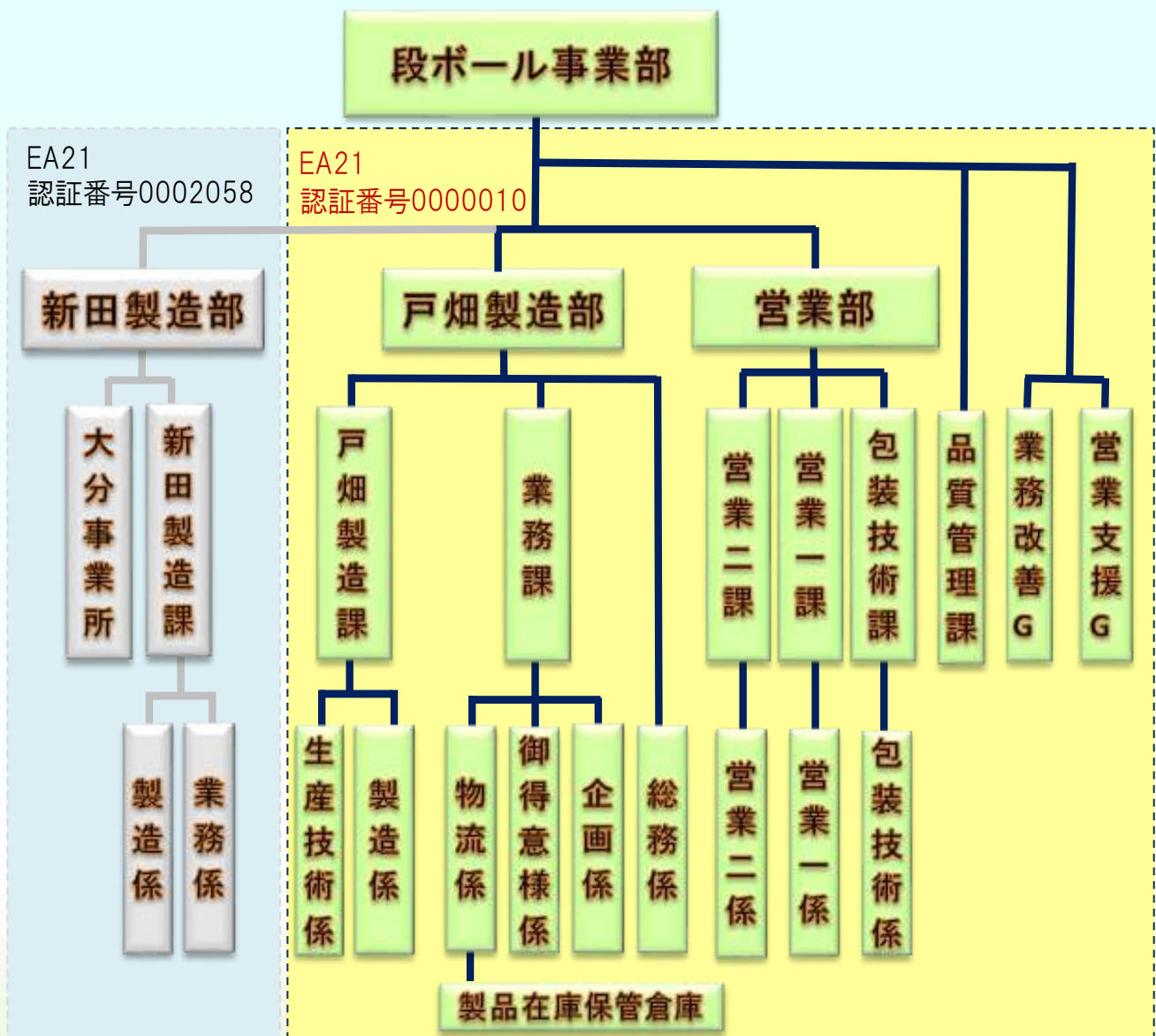
重量物段ボール 包装仕様

## 8) 事業の規模

項目	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
主要製品生産量	t	4,571	4,562	4,404	4,076
出荷額	万円	106,841	191,746	103,235	108,030
従業員人数	人	57	56	57	56
床面積	m <sup>2</sup>	8,564	8,564	7,856	7,856

※2022年4月：製品在庫保管倉庫移転

## 9) 段ボール事業部 組織体制



## 10) 環境経営方針

### 太陽インダストリー(株)戸畑工場

#### 環境経営方針

##### 1.基本理念

当社は、「お客様の繁栄をお手伝いをする」ことをモットーに、人と自然との共存をめざして快適で安全な地球環境の保全に少しでも貢献するよう社員一人一人が創意・工夫を図り環境負荷の低減に積極的に取り組みます。又、生活活動の推進資源の消費者として環境に配慮した資材の調達に務めます。

##### 2.企業行動憲章

- (1) 私たちは、技術革新と徹底した品質管理で、お客様のニーズを満足させる生産活動に邁進します。
- (2) 私たちは、人権を尊重し、安全で働きやすい環境を確保し、ゆとりと豊かさを実現します。
- (3) 私たちは、環境保全活動を推進し、地球資源を有効に活用します。
- (4) 私たちは、企業市民として、法令を順守し、地域や社会に貢献します。
- (5) 経営トップは、自らの役割として企業倫理の徹底を図ります。

##### 3.環境経営方針

当社は、段ボールケースの製造・販売及び包装資材の販売を行っている中で環境経営の継続的改善を図る為、以下の環境活動を推進していきます。

- (1) 環境目標を定め、定期的に見直し、継続的な環境経営システムの改善に務める。
- (2) 環境に関わるあらゆる法規制とその他要求事項を遵守する。
- (3) 当工場の事業活動に伴う影響を考慮し、以下の項目について環境改善に務める。
  - ① 二酸化炭素排出量の削減。  
(電気使用量の削減、自動車燃料の使用量削減等)
  - ② 廃棄物排出量の削減。
  - ③ 投入資源の削減。
  - ④ 総排水量の削減。
  - ⑤ 環境配慮包装設計の推進。
- (4) 継続的環境改善の実施を行い、更なる環境意識の向上及び環境教育を展開し、全従業員の意識を高めていく。  
「環境活動による費用対効果を対前年比と比較し開示及び周知させ環境に対する意識の向上を目指す。」

2003年10月1日制定  
2023年 4月1日改定

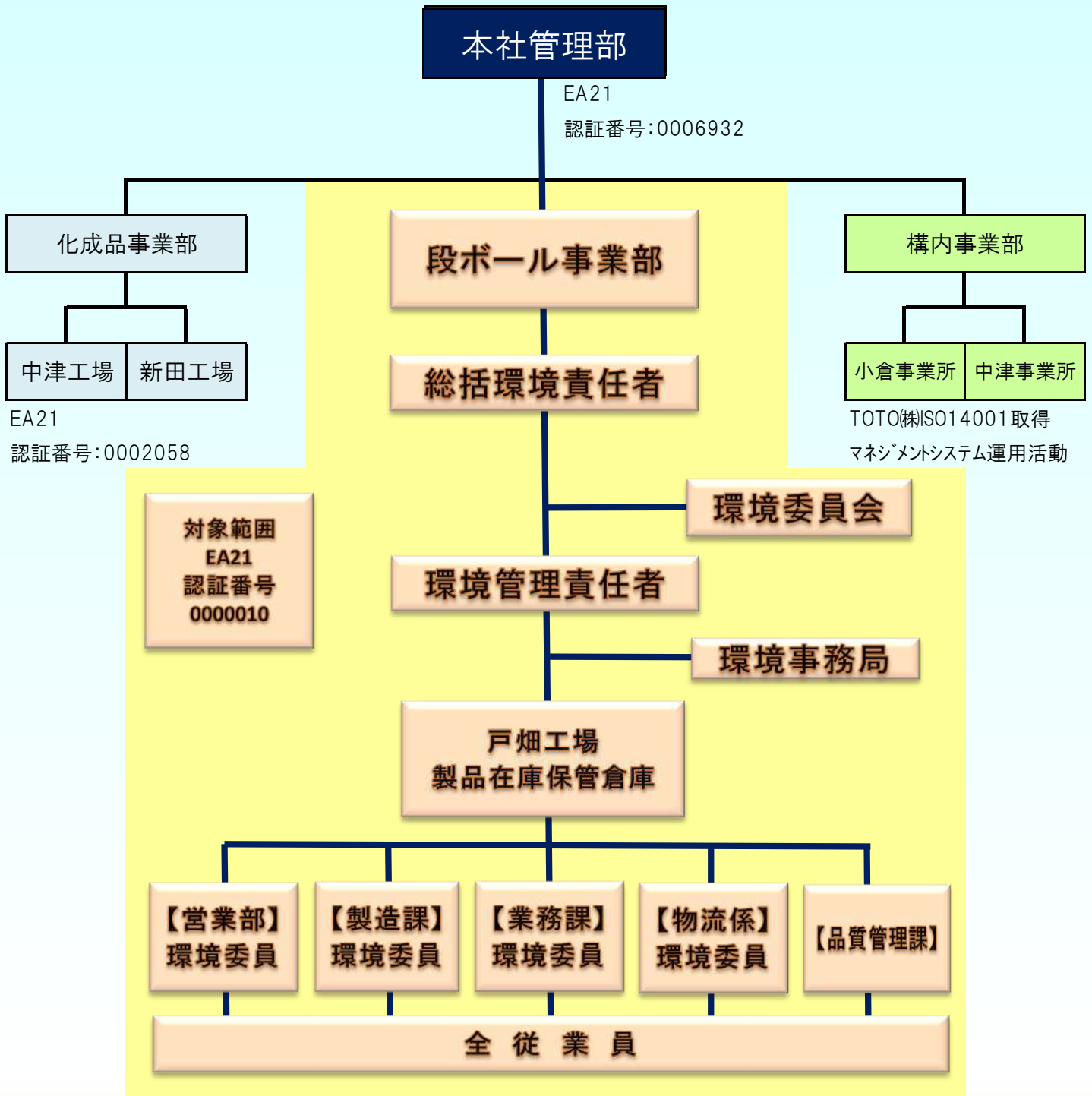
事業部長 奥 憲明



11) EA21実施体制

制定:2003年10月1日

改訂:2024年10月1日



## 12) EA21 役割・責任・権限

担 当	主な責任と権限
統括 環境責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・EA21環境マネジメントシステムの統括管理</li> <li>・環境管理責任者の任命</li> <li>・環境経営方針の策定</li> <li>・環境経営システム全体的な見直しの指示及び実施</li> <li>・環境経営システムに関わる全体的な承認</li> <li>・環境活動への取組を適切に実行するための資源（人・物・金）の準備</li> </ul>
環境管理 責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表者より委任を受けた環境経営システム全体的な構築、運用、維持に関する責任と権限</li> <li>・環境経営計画の策定及び進捗管理を代表者へ報告</li> <li>・環境関連法規のとりまとめと評価及び環境経営レポートの確認と公表</li> <li>・緊急事態への対応訓練の実施と記録及び計画</li> <li>・各部門の取組内容の把握および検討、把握を行う。</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営における事務局としての環境管理責任者の補佐</li> <li>・環境活動における決定事項を社員全般への伝達及び環境活動記録のとりまとめ保管</li> <li>・環境上の外部コミュニケーション窓口</li> <li>・環境関連法規のとりまとめ及び環境経営レポートの作成、環境管理責任者への報告</li> </ul>
環境保全 推進員 (各部門責任者)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境方針、環境目標、環境活動計画を部門全体に周知</li> <li>・環境目標達成のため、自部門の環境活動を推進する</li> <li>・自部門で発生した問題点の是正処置、予防処置を実施する</li> <li>・自部門の教育、訓練の実施</li> <li>・自部門の環境活動を毎月取組をまとめ環境管理責任者へ報告</li> </ul>
従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚</li> <li>・部門の環境活動の実行 (決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加)</li> </ul>

### 13) 過去3年の環境負荷状況(2021年~2023年)

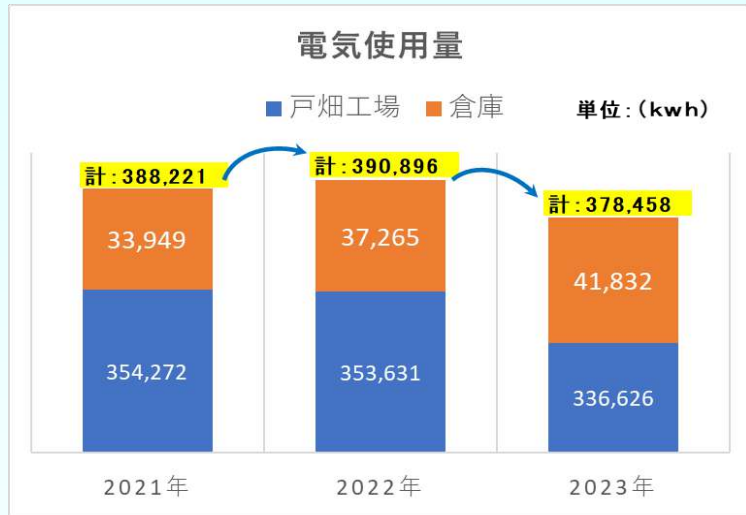


主要製品生産量 単位：t

年度	年間	平均
2021年	4,562	380
2022年	4,404	367
2023年	4,076	340

【2021~2023年】

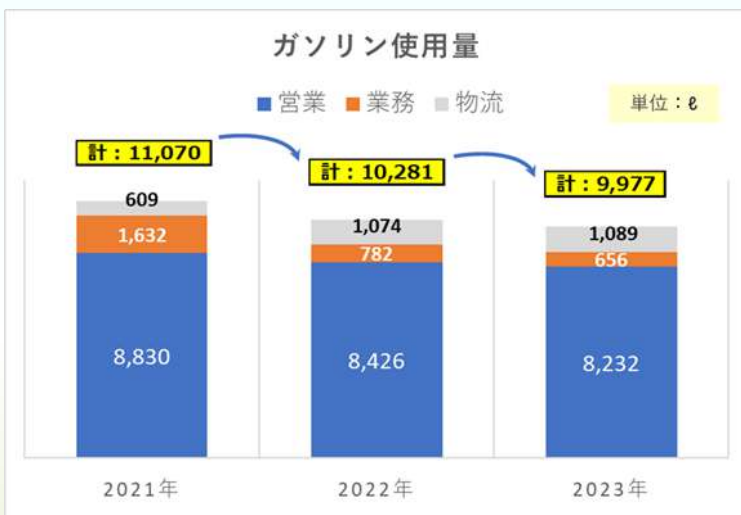
- ① コロナ禍の影響により感染防止策として休業特別休業実施に伴い稼働日数の減少による生産量減少。
- ② 2022~23年海外紛争・中国の景気低迷の影響により生産量減少。



電力使用量 (Kwh)

年度	年間	平均	CO2排出量 kg-CO2
2021年	388,221	32,352	148,300 kg-CO2
2022年	390,896	32,575	149,322 kg-CO2
2023年	378,458	31,538	144,571 kg-CO2

- ① 2022年度異常気象、夏季の食中毒、熱中症対策に伴いエアコン使用時間増加。
- ② 2023年度海外紛争の影響・中国の景気低迷によりの生産量減少に伴い主要機械の稼働日数減少。

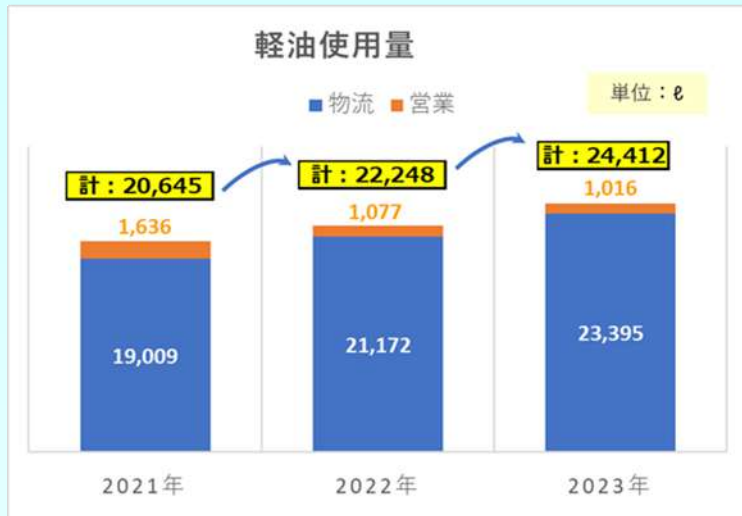


ガソリン：総使用量 (L)

年度	年間	平均	CO2排出量 kg-CO2
2021年	11,070	923	742.8 kg-CO2
2022年	10,281	857	689.84 kg-CO2
2023年	9,977	831	669.49 kg-CO2

- ① 2021~23年コロナ禍の影響に伴い訪問制限によりお客様への訪問件数減少。
- ② 2022年営業車両の減少に伴いガソリン使用量減少。
- ③ 2023年営業車両1台ハイブリッド入替。

## 14) 過去3年の環境負荷の状況(2021~2023年)



軽油；総使用量(L)

年度	年間	平均	CO2排出量 kg-CO2
2021年	20,645	1,720	1418.34 kg-CO2
2022年	22,248	1,854	1528.46 kg-CO2
2023年	24,412	2,034	167.038 kg-CO2

- ①2022年物流倉庫移転に伴い、工場間輸送距離増加。
- ②庸車から自社物流にて配送を強化に伴い軽油の使用量の増加。
- ③2023年12月よりトラック1台増車。



水量使用量 (m<sup>3</sup>)

年度	年間	平均
2021年	795.9	66
2022年	787.4	66
2023年	835.5	84

8~3月 コロナ感染予防  
4~8月 休業・特別休暇  
を実施

- ①2021年度8~3月・2022年度4~8月コロナ感染予防、休業・特別休暇を実施し稼働日数減少により水使用量減少。
- ②2023年度コロナ感染終息に伴い、通常の生産体制の戻り水使用量増加。  
(外部要因による水使用量増減となる)



廃棄物排出量 (単位：kg)

項目	2021年	2022年	2023年
一般廃棄物量	853	708	480
産業廃棄物	16,121	7,690	8,070
総排出量	16,973	8,398	8,550
再資源化	16,121	7,690	8,070
リサイクル率	95.0%	91.6%	94.4%

- ①一般廃棄物に関しては部門の取組により年々減少傾向になっている。
- ②産業廃棄物  
「20年~21年木パレット処分→樹脂パレット化」  
「22年4月：倉庫移転、不要物処分」等で変動  
今後の取組内容を検討。(リサイクル率高水準)

## 15) 2023年度:環境経営目標の達成状況(全体)

項目		単位	基準値	2023年度 目標	2023年度 実績	評価	
二酸化炭素排出量	電気使用量	kWh (kg-CO2換算)	390,896 (150,495)	386,987 (148,990)	378,458 (145,706)	○	
	電気使用量	kWh/千㎡ (kg-CO2換算)	50.02 (19.26)	48.52 (18.68)	48.88 (18.82)	×	
	自動車 燃料 燃費	物流 ・ガソリン ・軽油	万㎡km/l (kg-CO2換算)	54.87 (144.00)	55.42 (142.56)	56.82 (136.01)	○
		営業 ・ガソリン ・軽油	km/l (kg-CO2換算)	19.96 (46.34)	20.16 (45.88)	20.92 (44.11)	○
	総量 (LPG, 灯油等含む)		(kg-CO2換算)	(250,039)	(247,539)	(248,269)	×
一般ゴミ排出量		袋	303	300	192	○	
		トン	0.76	0.75	0.48		
廃棄物排出量		トン	8.94	8.86	8.07	○	
総排水量		ℓ/日	3,143	3,112	3,103	○	
包装材使用量の削減	VE提案	案件/年	—	10	10	○	
	LCC原紙提案	案件/年	—	10	3	×	
	FSCマーク導入	案件/年	—	10	10	○	
投入資源の削減	加工平米のロス率低減	%	0.364	0.353	0.338	○	

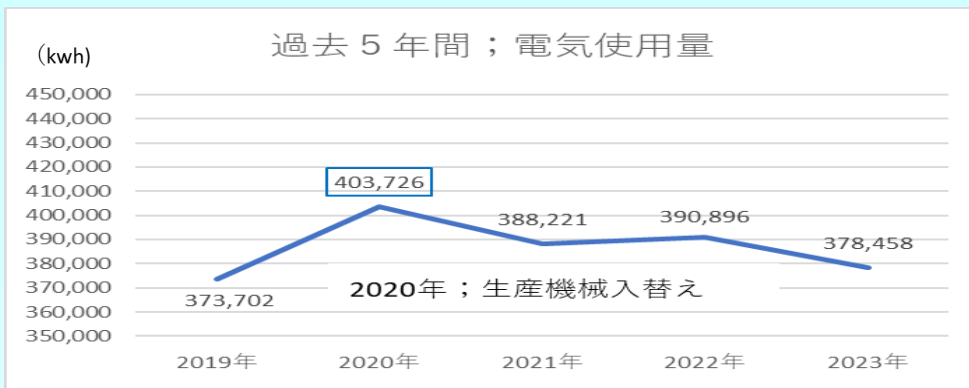
※ 九州電力の実排出係数0.385kg-CO2/kWh (平成22年度)

### 基準値及び算出方法

二酸化炭素の排出量【製造】 (電気使用量の削減)	基準値; 20年度より算出した基準値50.02kwh/千㎡に対し3%削減 計算式; 23年度使用電力量(kwh) ÷ 通し加工平米(千平米数)
二酸化炭素の排出量【物流】 (自動車燃料使用量) 燃費向上	基準値; 21年~22年燃料使用量平均54.87(万㎡km/ℓ) 対比1%向上 計算式; 配送車両を対象とした(燃料 × (出荷㎡ + 輸送㎡)) ÷ 万㎡
二酸化炭素の排出量【営業】 (自動車燃料使用量) 燃費向上	基準値; 23年燃料使用量実績19.96km/ℓに対して1%向上 計算式; 外勤営業を対象とし走行距離 ÷ 給油量にて算出
廃棄物排出量の削減【業務】 一般ゴミの分別による削減	基準値; 20年~22年度実績平均値303袋/年に対し1%削減 計算式; 一般ゴミ1袋あたり2.5gで算出
廃棄物排出量の削減	基準値; 20年~22年度実績平均値8.94t/年に対し1%削減 計算式; 実排出量にて算出
総排水量	基準値; 20~22年度コロナ感染対策(特別休暇)を除く水使用量(ℓ/日) 計算式; 日々水使用量 計測(メーター)
包装材使用量の削減【営業】	VE提案 LCC原紙提案 FSCマーク導入 基準値; 営業部方針で(LCC)(FSC)新たな取り組みとなる 案件カウント: お客様との交渉で具体的に品番等が明確となり 検討されたものに対して提案件数1件としてカウント
投入資源の削減 (加工平米のロス率低減)	基準値; 22年度より算出したロス基準値0.392%に対し1%削減 計算式; 製品通し平米 ÷ 仕上り平米数にて算出

# 16) 二酸化炭素排出量の削減〔電気使用量の削減〕

電気使用量 (全体)



部門取組結果

製造

項目			単位	基準値	目標値	2023年度実績	評価
二酸化炭素排出量	担当製造	不要電力削減	kWh/千㎡	50.02	48.52	48.88	×
			(kg-CO2換算)	19.26	18.68	18.82	×

【生産性】

	2023年度目標値 (通し/h)	基準値 (前期実績)	2023年度2月実績	目標値達成率 (%)	基準値達成率 (%)
FG	4,475	4,094	3,839	85.8	93.8
CM	2,355	2,329	2,109	89.6	90.6
UP	1,275	1,258	1,314	103.1	104.5

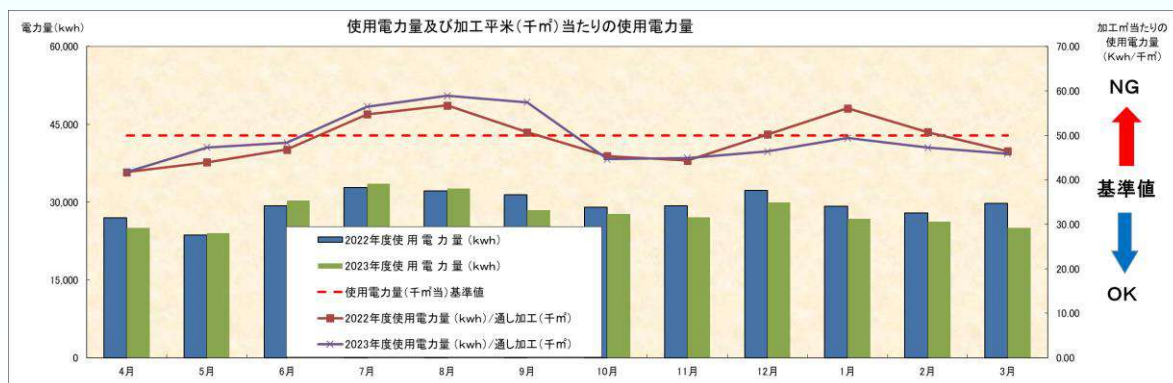
【部門目標】

【実績】

※基準値⇒2020年度より算出。(CM導入により見直し)

期間	50.02 (kWh/千㎡)	基準	判定
2021年4月～	49.52 (kWh/千㎡)	基準値より1%削減	○
2022年4月～	49.02 (kWh/千㎡)	基準値より2%削減	○
2023年4月～	48.52 (kWh/千㎡)	基準値より3%削減	×

※基準値に対し2021年度～2023年度までに3%削減を目標とする。



〔取組内容〕

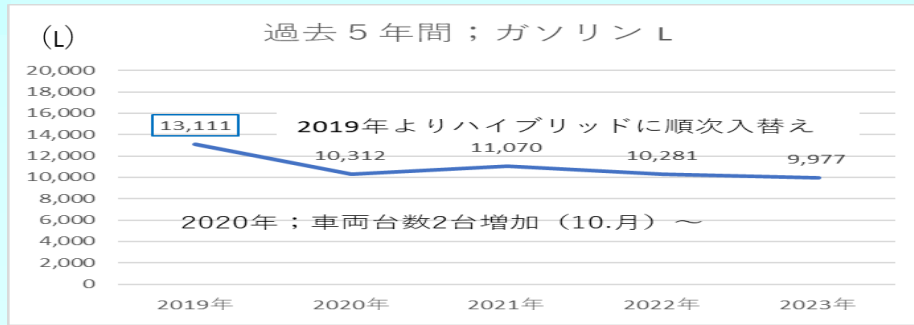
- 1.使用時以外の照明器具の消灯
- 2.冷暖房設定温度の厳守
- 3.主要3機種 時間当たりの生産性管理 (管理値設定による問題改善)
- 4.工場扇 (ルーファン) の節電取り組み

エクオスの機長変更後、新人機長という事もあり生産性が低下し機械の稼働時間が増え電力も増加傾向になった。

但し、補う形で工場扇の『入・切』を行い電力削減を行えた事は良い取組だった。2024年度は生産性の向上と工場扇の取組や、新たな取組をプラスして目標達成を目指す。

17) 二酸化炭素排出量の削減〔ガソリン使用量の削減〕

ガソリン使用量 (全体)



部門取組結果

営業

項目		単位	基準値	目標値	2023年度実績	評価	
二酸化炭素排出量 燃費向上	担当 営業	ガソリン	km/ℓ	19.96	20.16	20.92	○
			(kg-CO2換算)	11.63	11.51	9.81	○



2024年度 1月から新体制に伴い、車両1台増加。2023年度は燃費集計には含まず集計

結果：目標：19.96 km/ℓ 実績：20.92 km/ℓ  
104%達成 (○)

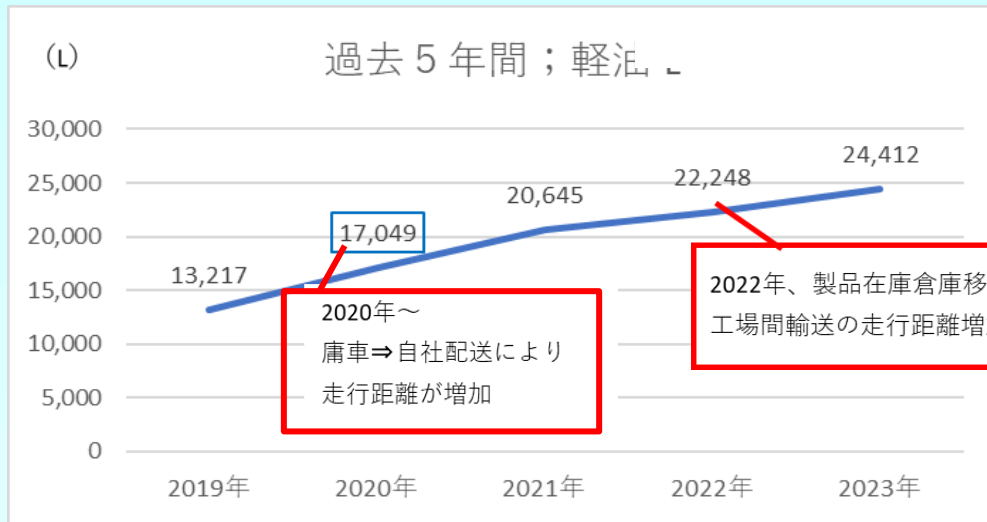
2024年度は直近の使用台数にて再度目標の設定を行う。

よって、2023年度を基準年度として活動を実施していきます。

2023年度																
担当	車両	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(平均)	
燃費管理対象車両	A氏	距離	2,233.0	1,761.0	2,333.6	2,853.0	2,125.0	1,728.0	2,165.0	2,612.0	3,034.0	1,497.0	1,458.0	2,462.0	26,261.6	
		給油	108.60	84.00	113.34	137.41	105.34	84.00	104.77	122.24	141.24	72.12	77.60	131.81	1,282.47	
		燃費	20.56	20.96	20.59	20.76	20.17	20.57	20.66	21.37	21.48	20.76	18.79	18.68	20.48	
			目標値	19.00	20.00	20.50	19.50	19.50	19.50	20.50	20.50	20.50	20.50	20.50	20.08	
	B氏	距離	1,912.0	2,640.0	1,968.0	1,873.0	2,605.0	2,651.0	3,927.0	2,841.0	3,561.0	1,900.0	2,289.0	2,259.0	30,426.0	
		給油	90.02	114.42	88.56	93.31	133.13	124.86	175.08	131.34	168.82	93.36	118.88	116.12	1,447.90	
		燃費	21.24	23.07	22.22	20.07	19.57	21.23	22.43	21.63	21.09	20.35	19.25	19.45	21.01	
			目標値	22.00	21.50	21.00	21.00	20.50	20.50	20.50	21.00	21.50	20.00	20.00	20.00	
	C氏	距離	1,348.6	2,761.6	3,271.9	3,114.1	2,290.8	3,269.0	1,932.7	2,435.7	2,561.4	1,811.2	1,828.5	2,270.7	28,896.2	
		給油	60.42	124.63	150.50	147.66	111.96	152.35	90.59	112.25	119.47	88.80	88.67	103.77	1,351.07	
		燃費	22.32	22.16	21.74	21.09	20.46	21.46	21.33	21.70	21.44	20.40	20.62	21.88	21.39	
			目標値	21.50	21.50	20.00	19.50	19.50	20.00	21.00	21.00	20.00	19.50	19.50	20.21	
D氏	距離	2,671.8	1,787.6	1,177.0	1,201.0	1,025.0	632.0	1,330.0	1,516.0	1,338.4	662.0	1,226.0	634.0	15,200.8		
	給油	114.29	77.68	52.97	63.30	63.00	32.05	60.96	64.31	64.06	32.00	62.00	30.10	716.72		
	燃費	23.38	23.01	22.22	18.97	16.27	19.72	21.82	23.57	20.89	20.69	19.77	21.06	21.21		
		目標値	20.00	20.00	19.50	19.00	19.00	19.00	19.50	19.50	19.50	20.00	20.00	19.54		
E氏	距離											638.0	1,354.0	1,409.0	3,401.0	
	給油											39.58	66.81	74.95	181.34	
	燃費											16.12	20.27	18.80	18.75	
		目標値										-	-	-	-	
燃費管理対象車両 平均値	距離		8,165.4	8,950.2	8,750.5	9,041.1	8,045.8	8,280.0	9,354.7	9,405	10,495	6,508	8,156	9,035	104,185.6	
	給油		373.3	400.7	405.4	441.7	413.4	393.3	431.4	430.14	493.59	325.86	413.96	456.75	4,979.50	
	燃費		21.87	22.33	21.59	20.47	19.46	21.05	21.68	21.86	21.26	19.97	19.70	19.78	20.92	
	月目標		20.63	20.75	20.25	19.75	19.63	19.75	20.38	20.50	20.38	19.88	20.00	20.00	20.16	
	評価		○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	○	
訪問率		24%	20%	21%	19%	22%	20%	19%	24%	23%	19%	21%	19%	-		

## 18) 二酸化炭素排出量の削減〔軽油使用量の削減〕

軽油使用量（全体）



※2023年度の部門取組 『燃費向上の取組』に関しては  
目標55.42万m<sup>3</sup>/ℓ ⇒ 実績56.82万m<sup>3</sup>/ℓ 燃費 1.41万m<sup>3</sup>/ℓ と燃費向上となる。

但し  
軽油使用量 2022年：22,248ℓ/年 ⇒ 2023年：24,412ℓ/年 2,164ℓ/年増加となる。

要因として ①2022年：倉庫移転による工場間輸送距離増加  
②庸車から自社トラックにて配送により軽油使用量増加  
状況の変化により当初計画した目標値が現状と合わない状況となり  
2024年 基準値を見直し再度目標設定を行い取組を行います。

### 部門取組結果

物流

項目			単位	基準値	目標値	2023年度実績	評価
二酸化炭素 排出量 燃費向上	担当 物流	軽油	万m <sup>3</sup> /ℓ	54.87	52.36	56.82	○
			(kg-CO2換算)	144.00	142.56	130.86	○

【部門目標】

【実績】

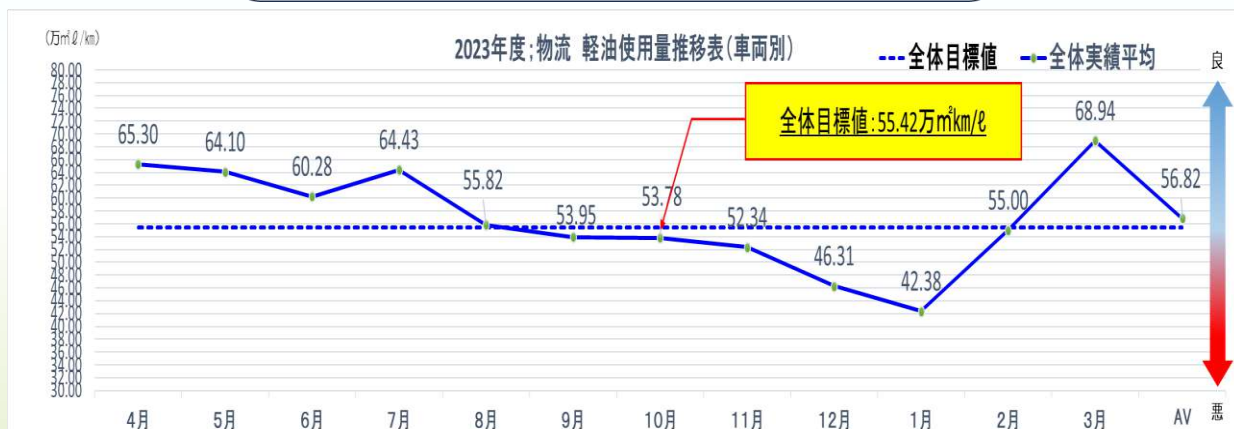
基準値	54.87 (万m <sup>3</sup> /ℓ)	過去2年 (2021年～2022年度) 3台実績平均
2023年度	55.42 (万m <sup>3</sup> /ℓ)	基準より 1%向上



		判定
2023年度	56.82 (万m <sup>3</sup> /ℓ)	○

#### 〔取組内容〕

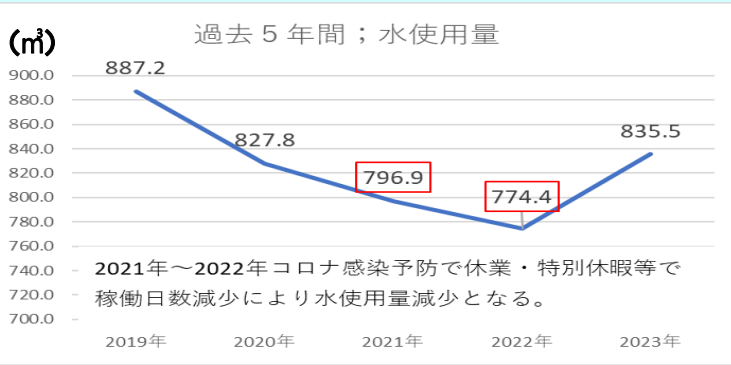
1. エコドライブ10の推進
2. 効率的配送計画の実施
3. 加速・減速の少ない運転の推進
4. エコドライブ運転実施状況の確認
5. 安全運転講習（社内・外部）
6. ガソリン使用量・燃費の把握
7. 車両点検・整備の実施  
(オイル交換の実施など)





## 19) 水使用量の削減

水使用量（全体）



2021年～2022年8月までコロナ感染予防で休業・特別休暇などで稼働日数減少となり水使用量減少となる。  
2023年はコロナ5類へ移行となり通常の生産体制に戻り水使用量は前年2022年より増加となった。

但し、  
2023年目標 3,112 l/日 実績3,103 l/日  
目標数値を下回り達成となる。

### 部門取組結果

#### 業務

項目			単位	基準値	目標値	2023年度実績	評価
総排出量	担当業務	水使用量削減	l/日	3,143	3,112	3,103	○

⇒ 休業・時間休業取得期間

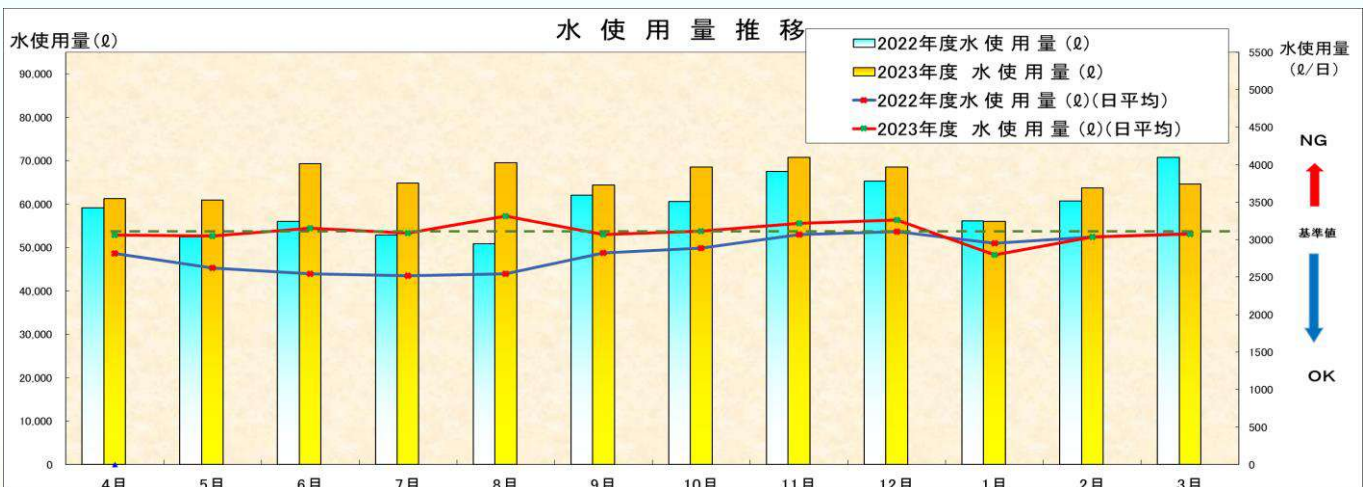
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計	
2022年度 (参考)	稼働日数	21	20	22	21	20	22	21	22	21	19	20	23	252日
	排水処理稼働日数	12	11	13	13	11	13	12	14	12	9	13	15	148日
	休日出勤日数	1	3	1	3	3	2	4	4	4	2	2	1	30日
	2022年度水使用量 (l)	59,096	52,425	55,979	52,915	50,881	62,101	60,570	67,548	65,271	56,081	60,712	70,802	714,381
	2022年度水使用量 (l) (日平均)	2,815	2,622	2,545	2,520	2,545	2,823	2,885	3,071	3,109	2,952	3,036	3,079	2,834 (年間平均)
2023年度	稼働日数	20	20	22	21	21	21	22	22	21	20	21	21	252日
	排水処理稼働日数	14	16	11	11	10	9	11	11	14	9	14	11	141日
	休日出勤日数	2	3	4	3	1	4	2	4	2	2	3	1	31日
	2023年度水使用量 (l)	61,291	60,963	69,335	64,834	69,561	64,382	68,535	70,762	68,523	55,971	63,732	64,634	782,523
	2023年度水使用量 (l) (日平均)	3,065	3,049	3,152	3,088	3,313	3,066	3,116	3,217	3,263	2,799	3,035	3,078	3,103 (年間平均)

### 【部門目標】

### 【実績】

※基準値⇒2020年～2022年度の特休以外水使用量 (l/日) とする

	3,143 (l/日)	基準			判定	
2023年度	3,112 (l/日)	基準より1%削減	⇒	2023年度	3,103 (l/日)	○



### 2023年度：取組内容

- ・水使用量の調査、把握（毎朝1回）
- ・日々平均使用量増加の場合原因調査
- ・蛇口の水漏れ点検（定期的）

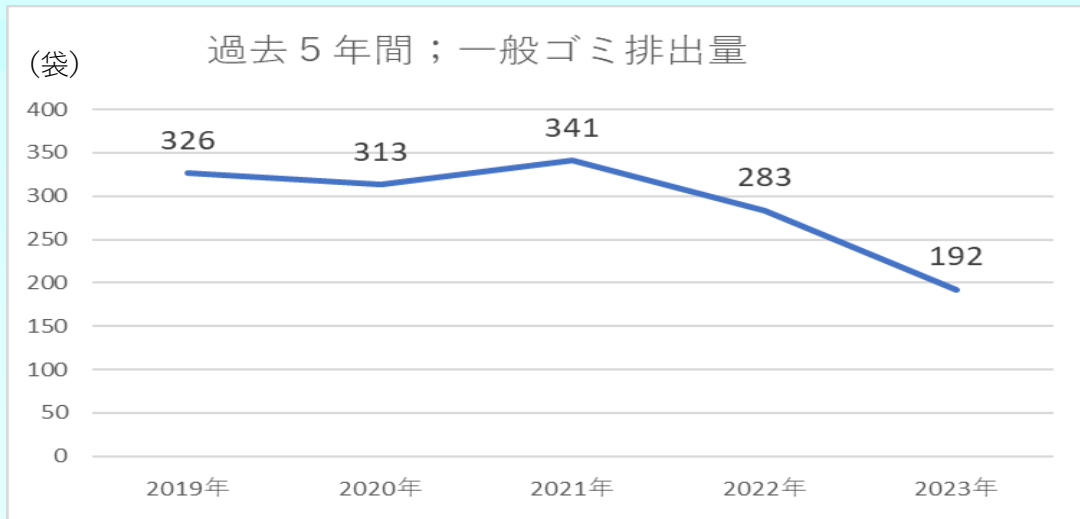
- ・漏水の確認/水漏れ箇所修繕
- ・廃水処理稼働日の把握
- ・水使用量削減の検討・実施

# 2023年取組内容及び評価

## 20) 産業廃棄物の削減〔一般ゴミの削減〕

部門取組結果

業務



2023年度は**目標；300袋⇒192袋 目標達成**となる。

要因；2022年感染対策エアータオル停止により代用品<sup>®</sup>-<sup>®</sup>タオルにて対応（ゴミ増）

2023年 エアータオル再開（ゴミ減） ▲9袋  
受注減少による副材料（両面テープ）使用量減少、外部要因により目標を大きく達成となる。

2024年度は例外の一般ゴミの実績を除き再度目標設定を行い取組んで参ります。

項目		単位	基準値	目標値	2023年度実績	評価
廃棄物削減	担当業務 一般ゴミ分別による削減	袋	303	300	192	○

〔取組内容〕

- 1.ゴミ回収日にゴミ調査を行う（毎週；火曜日・金曜日）
- 2.ゴミの分別徹底（・弁当容器・工場内からの排出ゴミ）
- 3.ゴミ排出量削減の検討・実施

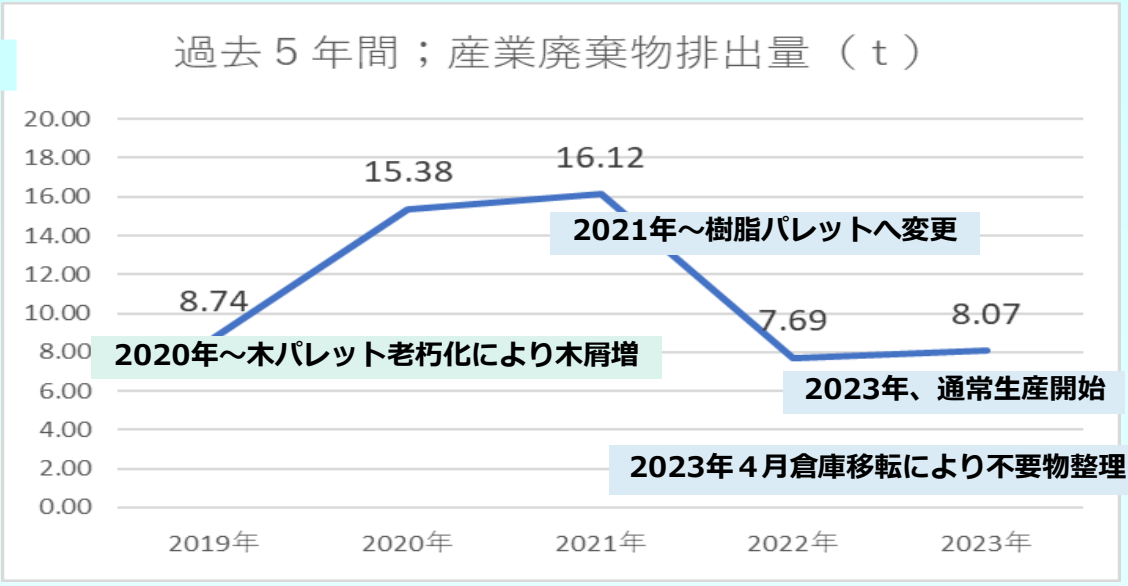


分類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
弁当カス(弁当容器・カップめん)	1	2	3	2	6	4	4	0	0	0	0	0	22
一般ゴミ(生ゴミ・ビニール類)	5	7	4	8	2	2	4	9	8	7	9	11	76
シール剥離紙	0	1	1	3	1	0	0	0	1	0	0	0	7
工場からのゴミ	4	5	7	3	3	6	5	8	5	7	4	7	64
その他	1	3	8	3	0	1	0	0	1	2	2	2	23
合計	11	18	23	19	12	13	13	17	15	16	15	20	192

# 2023年取組内容及び評価

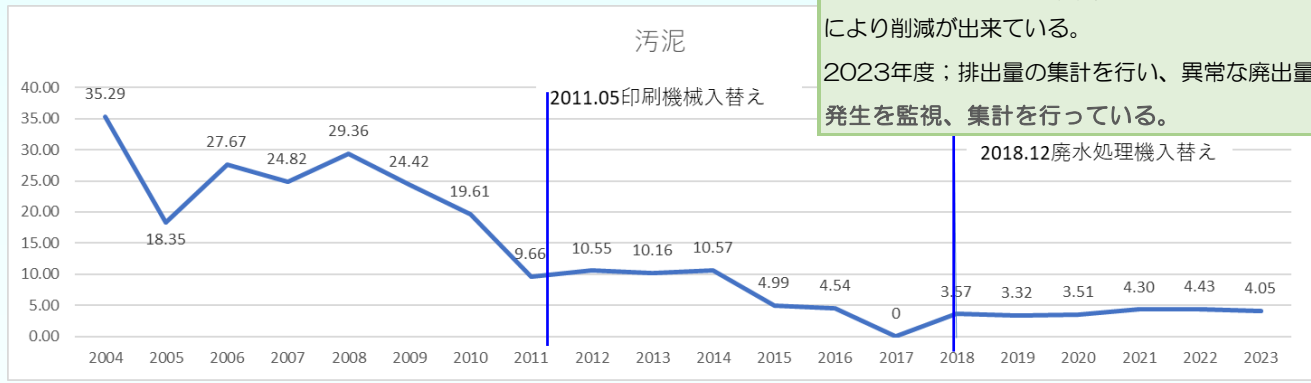
## 21) 産業廃棄物の削減

産業廃棄物 (全体)



**経緯**  
 2020年；木パレット老朽化により処分 (+木屑増)  
 2021年；木パレットから樹脂パレットへ変更 (-木屑減)  
 2023年；倉庫移転により不要物処分 (+産廃増)  
 2023年；コロナ5類へ移行 (通常生産体制)  
 ※下記の内容で®マークはリサイクルをしております。

産業廃棄物に関しては、一番多いのが汚泥ではあるが過去に印刷機・廃水処理入替えにより削減が出来る。  
 2023年度；排出量の集計を行い、異常な廃棄量発生を監視、集計を行っている。



部門取組結果 業務

項目	単位	基準値	目標値	2023年度実績	評価
産業廃棄物排出量	トン	8.94	8.86	8.07	○

項目	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
木屑®	t	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.04	0.00	0.00	0.00	1.04
紙くず	t	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.22	0.00	0.00	0.00	0.22
ドレン油®	KL	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.67	0.00	0.00	0.00	0.67
汚泥®	t	0.00	0.00	0.00	0.00	4.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	4.05
鉄屑®	t	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.95	0.00	0.00	0.00	0.95
廃プラ®	t	0.00	0.00	0.00	0.35	0.00	0.00	0.00	0.00	0.66	0.00	0.00	0.00	1.01
残容器®	t	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.05	0.00	0.00	0.00	0.05
印判®	t	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.08	0.00	0.00	0.00	0.08
廃棄物総排出量	t	0.00	0.00	0.00	0.35	4.05	0.00	0.00	0.00	3.67	0.00	0.00	0.00	8.07

## 22) 投入資源の削減 (2023年取組内容及び評価) 製造

### <主要3機種> 加工平米のロス率削減

#### 部門実績

#### <主要3機種> 加工平米ロス率(%)

※基準値⇒22年度(59期)の11月～3月の実績値の平均

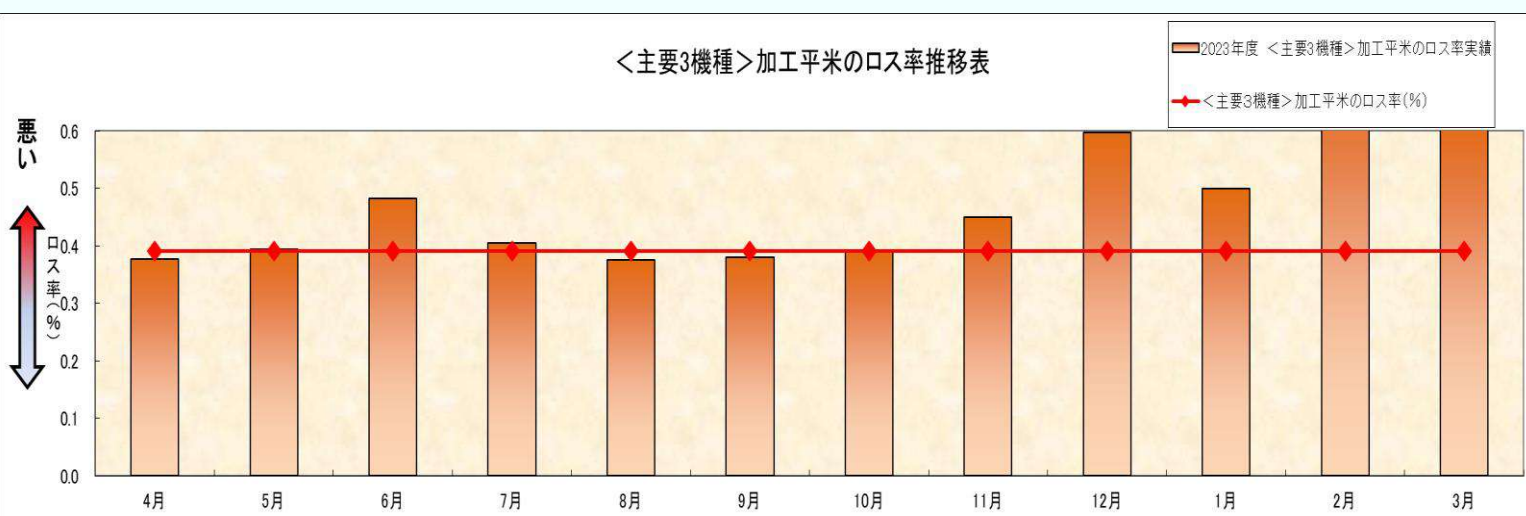
基準値	0.392 (%)	基準値対比削減率(%)
23年度	0.476 (%)	-22 (%)

項目		単位	基準値	目標値	2023年度実績	評価	
投入資源削減	担当製造	加工平米のロス率削減	%	0.392	0.388	0.476	×

#### 取組内容

【主要3機種】投入資源の削減 ロス事由を調査 改善し加工平米のロス率削減する	主要3機種 加工ロス率管理 (管理値 設定による問題改善) 100ケース以上の加工ロスについて問題改善 エクオス検査カメラ位置計測登録による加工ロス削減 乾燥時期におけるスチーム機使用による割れ不具合防止 検査装置の取り扱いの教育と調整スキル向上による加工ロス削減
--	--

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計	
2023年度 (60期)	通し平米	エクオス	337,062	278,831	330,977	306,737	301,464	282,437	359,819	366,224	363,246	281,895	309,954	308,376	3,827,022
		UP	99,920	91,087	105,002	102,437	95,901	82,182	96,934	95,522	93,783	88,146	92,702	94,889	1,138,505
		CM	162,364	138,528	190,672	184,879	156,179	129,920	162,632	140,181	188,560	172,389	153,505	141,443	1,921,252
		合計	599,346	508,446	626,651	594,053	553,544	494,539	619,385	601,927	645,589	542,430	556,161	544,708	6,886,779
	仕上り平米	エクオス	335,179	277,050	328,540	304,719	299,707	280,836	357,706	363,797	360,292	279,389	306,187	305,177	3,798,579
		UP	99,762	91,034	104,936	102,398	95,885	82,123	96,908	95,475	93,759	88,137	92,694	94,832	1,137,943
		CM	162,142	138,359	190,150	184,526	155,872	129,702	162,349	139,943	187,682	172,190	153,267	141,261	1,917,443
		合計	597,083	506,443	623,626	591,643	551,464	492,661	616,963	599,215	641,733	539,716	552,148	541,270	6,853,965
	ロス率(%)	エクオス	0.56	0.64	0.74	0.66	0.58	0.57	0.59	0.66	0.81	0.89	1.22	1.04	0.74
		UP	0.16	0.06	0.06	0.04	0.02	0.07	0.03	0.05	0.03	0.01	0.01	0.06	0.05
		CM	0.14	0.12	0.27	0.19	0.20	0.17	0.17	0.17	0.47	0.12	0.16	0.13	0.20
		平均	0.378	0.394	0.483	0.406	0.376	0.380	0.391	0.451	0.597	0.500	0.722	0.631	0.476



基準値として22年度の11月～3月の実績平均にて基準値を設定したが、新規品番で加工難易度の高い製品加工が発生し、それに相まって機長の変更もあり経験不足もあり目標を達成する事が出来なかった。今回の新規品番は硬質製品で特に乾燥時期になると罫線割れが生じロスが発生となりました。次年度再度目標設定を見直し取組んでいきます。

## 23) 環境に配慮した包装設計 (2023年取組内容及び評価) 営業

### 2023年度 環境に優しい包装提案

VE提案による環境負荷低減			目標 実績	LCC原紙提案による 包装材重量削減			目標 実績	FSCマーク導入による 環境配慮包装 (※2023年度 提案にて決定分のみを計上)			目標 実績
			10 品番				10 品番				10 社
			10 品番				3 品番				10 社
案件/品名	備考	採用/不採用		案件/品名	備考	採用/不採用		案件/品名	備考	採用/不採用	
1 シフス保管箱(大)(小)	発泡→発泡への使用材料削減、コストダウンによるVE提案。	○	1	細ケース	中芯S180→LCC120	○	1	A式 7品番	-	○	
2 ヒーターコア24種	トータル輸送効率UP。現行仕切9種→6種へ集約化、かつ材料削減、一部製品入数増加。	○	2	120サイズ無地	新規取り込み	○	2	A式 5品番	-	×	
3 クランク仕様改善	仕様変更により1setあたり10%の材料ダウン。	×	3	耳ナシOケース	中芯S180→LCC120	○	3	A式 3品番	-	○	
4 ロードディスク	仕切り高さダウンのVE提案。約30%の材料ダウン。	推進中	4				4	A式3品番	-	○	
5 エバポレーター	積層多用した現行仕様から仕切一体で提案。m比55%ダウン。重量比44%ダウン。	採用見込み	5				5	パットとベッド	-	○	
6 水加熱100サイズ	現行A式+仕切2種→内外装兼用箱へ。重量比で28%削減。	採用見込み	6				6	レトルトカレーケース	-	○	
7 リザーブタンク	現行A式+パット+仕切2種→内外装兼用箱へ。材料削減かつパレット積み付け効率アップ。	採用見込み	7				7	ブランクケース8点	-	○	
8 カーテンエアバック	設計改善により14.5%資材削減(m比)。パレタイズ150%アップにより物流費改善。	採用見込み	8				8	A式	-	推進中	
9 YY6601-0755 フェンダーモール	トレイ形状→パット化提案により、材料・保管・工数削減	推進中	9				9	A式	-	推進中	
10 J32U/V材質・ パット改善	外装7CW→2HAへ。L字パット→単純パットへ。	○	10				10	A式	-	推進中	

合計	
年間目標	30 件
実績	23 件

### \* ~ 2023年度反省と2024年度計画 ~

#### ■2023年度背景

前期までVE提案10件維持・継続を行ってきた中で、技術課中心の取り組みだった為、営業部方針である「FSC認証取得による普及活動の推進」「LCC原紙の推進」を掲げ、外勤メインの取り組みを新たに追加し、**営業部全体での推進を試みた。**

#### ■2023年度 結果

・VE提案 : 10/10品番・・・達成(○)

・**LCC提案: 3/10品番・・・未達(×)**

・FSC提案: 10/10社・・・達成(○)

**\*LCC提案が大きく未達となり、23/30件で終了。**

#### ■反省

LCC・FSCは提案後、客先での検証(他部署への承認・試験結果比較・価格比較等)に長期間を要し、停滞が多く、件数として伸びなかった。また、他要因でのストップ(例: 来期デザイン変更の際に検討)等も発生し、客先都合による要因が大きく目標-実績管理が実務に沿わず取り組みが難しかった。

#### ■2024年度 目標

来期目標はVE提案10件へ。\*営業部方針でのVE提案年間7件採用も踏まえ設定。

(※参考 2023年度 採用5件)

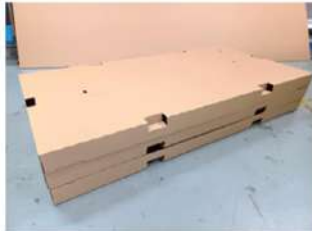
件数だけでなく、平米や重量・CO2排出量等で取組み効果の数値が見えやすいこと、VE提案活動は営業として常に意識して活動すべき点を踏まえ取り組む。

## 24) 環境に配慮した包装設計【改善事例】 ①

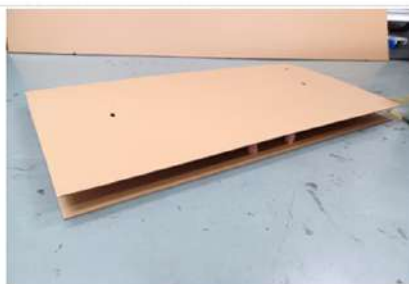
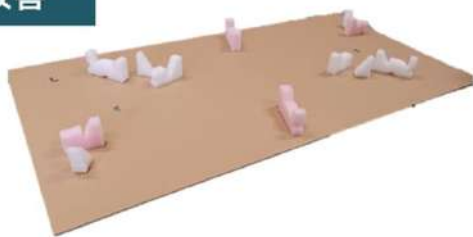
2024年2月度提案

### ■ YY6601-0755 パット化

現行

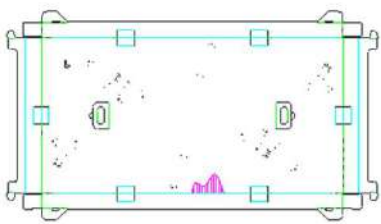


改善



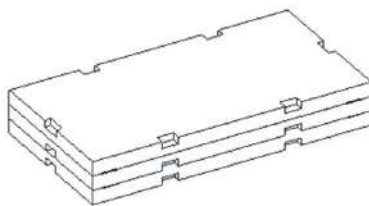
### ■ YY6601-0755 パット化 改善効果

使用材料



38%削減

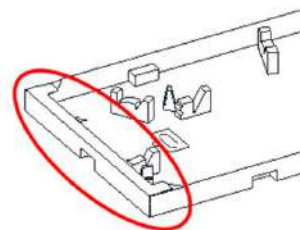
保管スペース



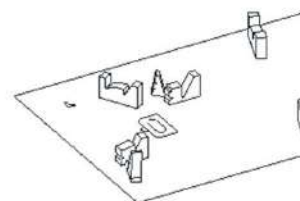
積み合わせで  
高さ1/2へ

50%削減

作業工数



組立て 約1分



組立て無し

仕様改善によるコストダウン実現

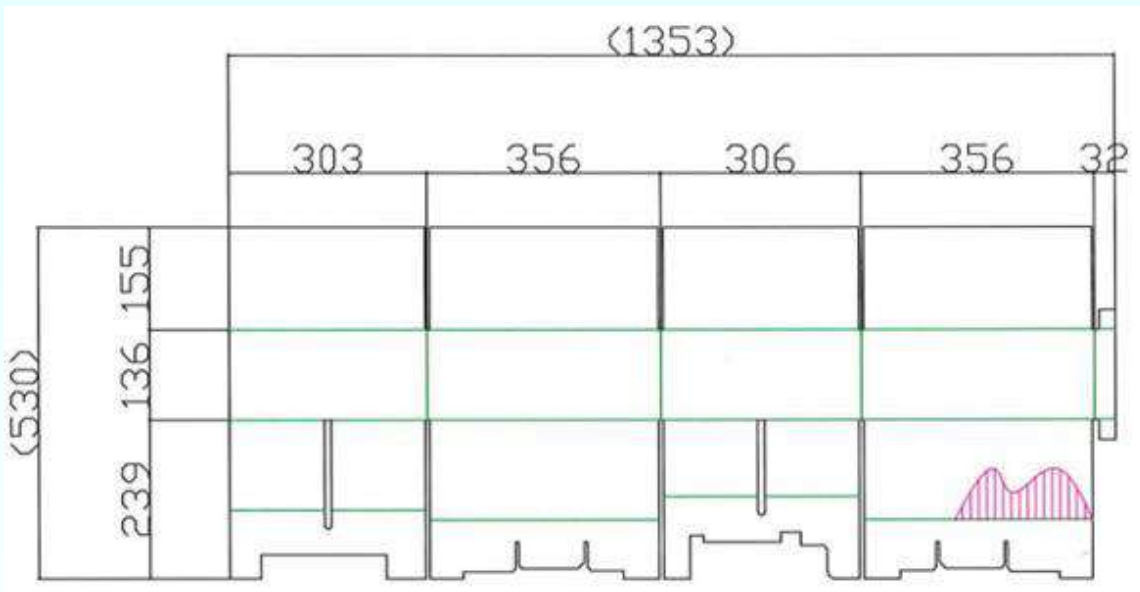
**25) 環境に配慮した包装設計【改善事例】 ②**

**2024年1月度提案 〈水加熱100サイズ〉**

	部材	材質	外寸(L/W/H)	重量(kg)	ケース <sup>2</sup>	
現行	外箱	K6A	363×303×130 (計796)	0.541	0.573	0.784 <sup>2</sup>
	仕切長	K6W			0.110	
	仕切短	K6W			0.101	
改良	内外装兼用箱	K6A	335×290×132 (計757)	0.387	0.632	0.632 <sup>2</sup>

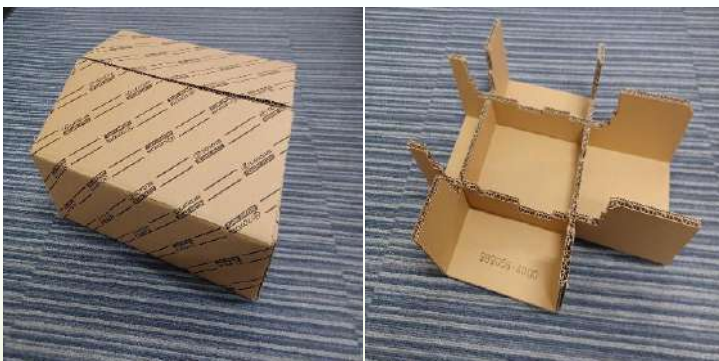
**20% ↓**

※3辺計 39mmダウン 28% ↓



BEFORE

AFTER



A式+仕切2種



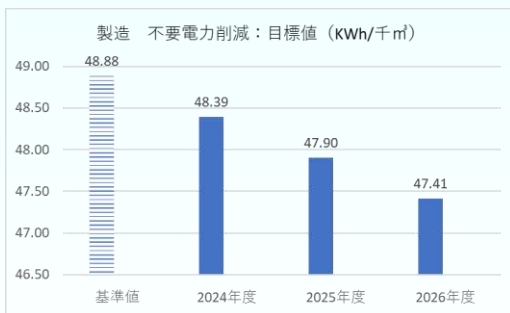
内外装兼用箱1点

## 26) 2024年度：環境経営目標(全体)

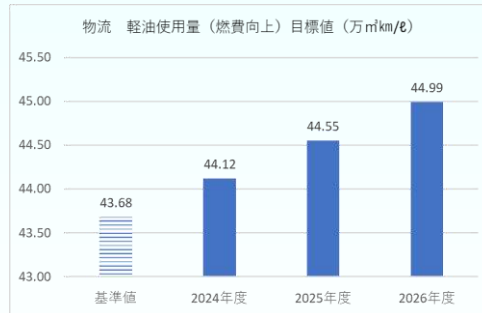
『2024年度から2017年版ガイドラインに沿って目標数値を設定し活動』

項目		単位	基準値	2024年度 目標	2025年度 目標	2026年度 目標	
二酸化炭素排出量	電気使用量	kWh (kg-CO2換算)	378,458 (144,571)	376,566 (143,848)	374,673 (143,125)	372,781 (142,402)	
	主要3機種 不要電力削減 (製造)	kWh/千㎡ (kg-CO2換算)	48.88 (18.67)	48.39 (18.48)	47.90 (18.30)	47.41 (18.11)	
	自動車 用車 量燃料	物流 軽油	万㎡km/ℓ (kg-CO2換算)	43.68 (114.63)	44.12 (113.48)	44.55 (112.35)	44.99 (111.19)
		営業 ガソリン	km/ℓ (kg-CO2換算)	20.92 (48.57)	21.13 (48.08)	21.34 (47.59)	21.55 (47.11)
	総量 (LPG,灯油等含む)	(kg-CO2換算)	(248,269)	(245,786)	(243,304)	(240,821)	
業務	一般ゴミ分別による削減	袋	232	230	227	225	
	廃棄物削減 (汚泥除く)	t	4.23	4.19	4.15	4.10	
	廃棄物排出総量	t	8.47	8.43	8.39	8.34	
業務	水使用量削減 (維持活動)	ℓ/日	3,103	3,103	3,103	3,103	
営業	包装材使用量の削減 (VE提案)	案件/年	10	10	10	10	
製造	投入資源の削減 加工平米の ロス率削減	%	0.476	0.472	0.467	0.462	

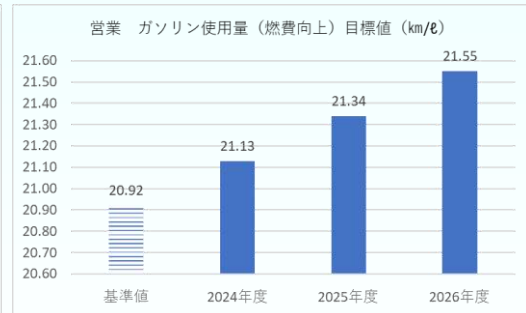
※九州電力の2021年調整後排出係数0.382kg-CO2/ kWh



23年度より算出した：48.88 (kWh/千㎡) を基準値に設定  
基準値に対して1%削減



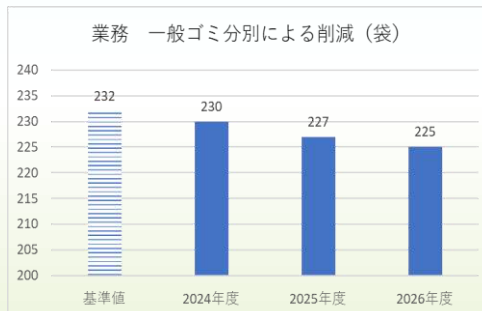
23年度より算出した：43.68 (万㎡km/ℓ) を基準値に設定  
基準値に対して1%削減



人員、車両台数変動により23年実績：20.92km/ℓを基準値に設定  
基準値に対して1%削減 (維持継続活動に重点を置き観察する)



23年度より算出した：249.38 (kg-CO2) を基準値に設定  
基準値に対して1%削減



21~23年実績 (コロナ過の影響除く『特別休暇』)  
平均：232袋を基準値に設定 基準値に対して1%削減



22~23年実績 (汚泥を除く)  
平均：4.23tを基準値に設定 基準値に対して1%削減



## 27) 2024年度 環境経営計画

## ◆二酸化炭素排出量の削減

手段		活動内容	担当
①	1 不要電力の削減	使用時以外の照明器具の消灯 冷暖房設定温度の厳守（継続実施） 工場扇（ルーファン）の節電取り組み CM、UP、組仕切の待機電力の削減（アイドリングストップ）	製造
	2 燃費管理 車両点検・整備/エコドライブの推進	ガソリン使用量・走行距離・燃費の把握 営業活動に伴う走行ルート・距離 等変動要因の把握 オイル交換時期の管理実施(5000km毎に一度交換) 車内清掃・不要物撤去の推進	営業
	3 エコドライブ10の推進 (ガソリン・軽油使用量の削減)	効率的配送計画の実施（配送ルート集約により輸送量の確保） アイドリングストップの推進（納品先での停車など） 加速・減速の少ない運転の推進 エコドライブ運転実施状況の確認（波状運転指数のエコサムにて日々確認） 安全運転講習（社内・外部） ガソリン使用量・燃費の把握 車両点検・整備の実施（オイル交換の実施など）	物流

## ◆総排水量の削減

手段		活動内容	担当
②	1 水使用量の削減	水使用量の把握（毎朝1回） 日々平均使用量より増加日の原因調査 蛇口の水漏れ点検（定期） 漏水の確認/水漏れ箇所補修 廃水処理稼働日の把握 水使用量削減の検討・実施	業務

## ◆廃棄物排出量の削減

手段		活動内容	担当
③	1 一般ゴミの分別による削減	ゴミ回収日にゴミ調査を行う（毎週；火曜日・金曜日） ゴミの分別徹底 （・弁当容器・工場内からの排出ゴミ） ゴミ排出量削減の検討・実施 工場周りの清掃（外部からのゴミ調査…月1回）	業務 業務・物流
	2 産業廃棄物 (鉄屑)のリサイクル 産業廃棄物	鉄屑の廃棄物を有価物として引取業者の検討及び実施 排出量の監視・集計（毎月） 鉄・木・廃プラ等の分別（日々） ストレッチフィルム業者持帰り状況の確認（日々） 環境・安全衛生パトロールにて荷扱い状況確認【パレット破損等】	業務 製造

## ◆投入資源の削減

手段		活動内容	担当
④	1 ロス事由を調査・改善し加工平米ロス率削減する	主要3機種 加工ロス率管理（管理値設定による問題改善） 100ケース以上の加工ロスについて問題改善 ステパンの貼替による搬送改善 乾燥時期におけるスチーム機使用による割れ不具合防止	製造

## ◆自ら提供するサービスの改善

手段		活動内容	担当
⑤	1 (環境配慮包装設計の推進) VE提案による環境負荷低減提案 【目標：10品番】	VE提案ユーザーの選定、絞り込み 適正包装の検討・設計 先方からの設計依頼によるVE提案の推進 VE提案件数、採用件数の把握及び集計	営業

## ◆地域貢献と環境保全

手段		活動内容	担当
⑥	1 外部コミュニケーション	戸畑埠頭ボランティア活動（街美化一斉運動の参加）	全従業員

## 28) 緊急事態対応訓練

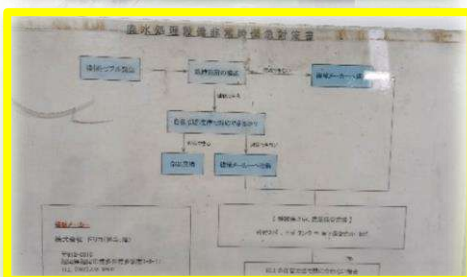
### ① 避難訓練 (2023.08.28)



### ② 自衛消防 消火訓練 (2024.02.21)



### ③ 排水処理設備漏水対応訓練 (2024.03.22)



## 29) 継続的環境活動

### LED照明化



### 節水呼掛け表示



### 温度設定



### 一般ゴミ分別



### 産廃処理 業者持帰BOX



### 燃費の良い車両(全車両ハイブリッド車)切替完了



## 30) 外部コミュニケーション

### 市民いっせいまち美化の日(毎年10月実施)



### 31) 過去の環境設備投資①

#### ① EQOS(印刷機)

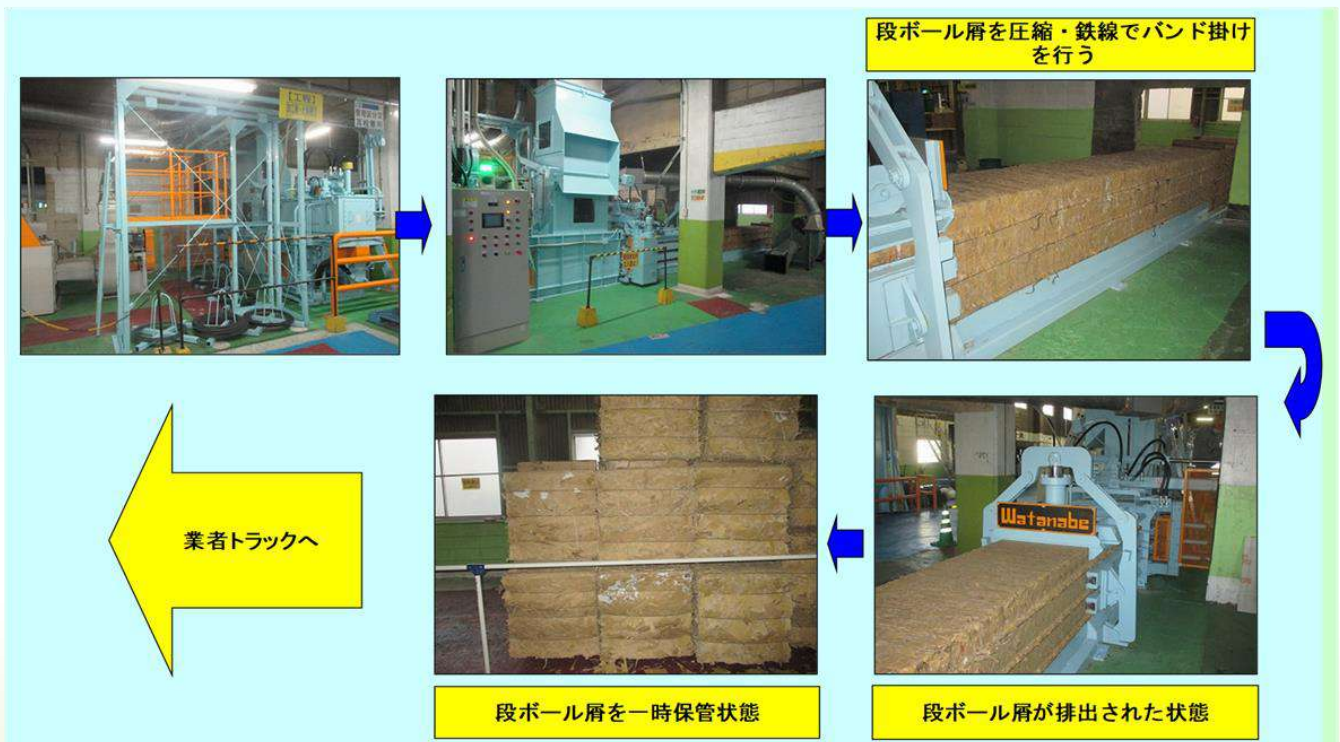
2011年度5月 導入



水使用量削減      インク廃液削減

#### ②段ボール屑処理

2015年度6月 導入



～高いリサイクル率で環境負荷も低い～  
約95.5%

段ボール 古紙 リサイクル

## 32) 過去の環境設備投資②

### ③ 廃水処理

2018年度12月 導入

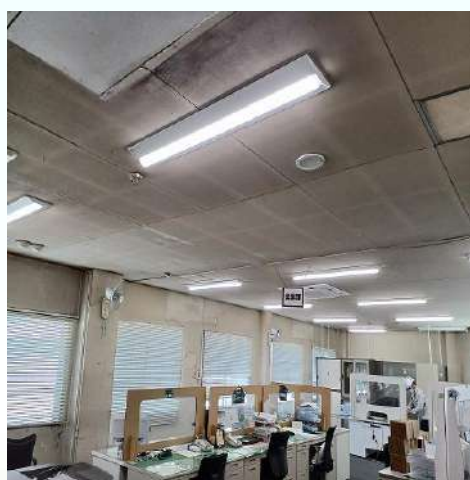


汚泥排出量削減

### ④ 『工場・事務所 LED 照明交換』

2022年度11月導入

#### 事務所



470~750Lux

#### トイレ



#### サックマシーン



#### 階段



#### EQOS



#### 手加工



電気使用量削減

### 33) 環境関連法規への違反・訴訟の有無

#### ・当社が該当する主な環境関連法規/条例

法規制	対象設備・作業・担当者	要求事項・内容	判定
騒音規制法	フレキシフォルダーグルアー及びコンプレッサ	・書類の提出及び保管。(第6条) (受理書、特定施設の種類と数、機械配置図、付近見取り図、公害防止担当者、公害防止管理者)	○
		・騒音規制の遵守。 (6:00~23:00は70 d b以下、23:00~6:00は65 d b以下である事)	○
廃棄物処理法	産業廃棄物及び事業系廃棄物	・マニフェスト票の管理。 (マニフェストの交付、マニフェストの写しの受理の管理、管理票写しの5年間の保管)	○
		・産廃の処理、運搬の委託基準。(収集運搬業者及び処分業者の契約書の保管約書の保管「期限は5年間」)ただし、有効期限が1年未満の場合は、すぐに業者に連絡し更新後の許可証を交付してもらう。	
		・産業廃棄物の保管場所の表示義務及び産業廃棄物保管基準 (掲示版は見やすい場所へ設置する。表示サイズは60cm×60cm。 表示内容は廃棄物の種類、管理者、連絡先。また、廃棄物は運搬収集されるまで飛散等の防止措置を講じる事)	○
フロン排出抑制法	エアコン・テーブル型冷蔵庫	点検の実施及び記録の保管。	○
化学物質管理促進法 (PRTR法)	環境事務局	顧客より不使用証明書の提出要求があった場合に速やかに書類の提出をおこなう。	○
消防法	防火管理者	・防火管理者の選任届出 (第8条1項)	○
	訓練	・消防計画の作成届出。(第8条1項)	○
	設備の点検	・消火施設の点検、整備。 (第8条1項) (総合点検は年1回3月に実施。機能点検は年2回9月・3月に実施)	○
	指定可燃物	・指定可燃物の取り扱いの届出。 (当工場は古紙が該当し最大14tで届出をしている。)	○
安全衛生法	各種管理者等の選任等	・衛生管理者、安全管理者、安全衛生委員会の設置、産業医の選任。	○
安全衛生法	危険防止	・機械、器具その他の設備による危険 ・爆発性の物、発火性の物、引火性の物等による危険 ・電気、熱その他のエネルギーによる危険	○
	教育	・安全衛生教育の義務と記録保管。	○
	インキ	・墨インキ等に含有するカーボンブラックの有害物ばく露作業報告 (年間500kg以上)	○
	ストレスチェック	・ストレスチェックの実施	○
顧客要求事項	販売製品	・MSDS、ICPデータ並びに成分表等の提出要求があった場合に速やかに書類の提出等を行う。	○

環境関連法規遵守については、当社に適用される環境関連法規及び条例の一覧を作成し年1回遵守状況を確認し変更・改善指導を行っております。

本年度、自社でチェックした結果、違反・訴訟はありませんでした。

また関係当局よりの違反などの指摘はありません。

## 34) 代表者による全体の評価と見直し・指示

項目	所見
是正の実施状況	問題ありません。
法の遵守状況	環境省のHPより新しい情報を入手しています。問題有りません。
実施体制の適切性	2023年度より人事異動により『環境管理責任者及び環境事務局担当者』を変更。取組については、各部署『環境活動実行要領書兼進捗状況報告書』通り実施されており、その結果を踏まえ目標設定を行い継続して環境活動に取組んで頂きたい。
目標設定の妥当性	現状の課題を踏まえ環境目標と整合しており、年一度の見直しを実施されています。
教育、訓練の実施状況	防火・防災に関して計画通り実施されています。 また、廃水処理設備の緊急事態を想定した教育・訓練も実施されています。
コミュニケーションのあり方	外部コミュニケーションについては問題なく実施されています。 内部コミュニケーションについてもミーティング議事録が作成されています。
文書管理状況	組織変更等生じた場合に於いても改訂されており管理がされています。 また、ISO9001と併用可能な文書は統一するなど検討して下さい。
緊急事態の考え方	緊急時の訓練については計画通り実施されています。 いざという時に対応できるように繰り返し教育・訓練をして下さい。
環境経営方針の変更の有無	変更はありません。
環境経営計画の変更の有無	大きな変更指示はありませんが、製造・業務・営業に於いて若干の計画変更があります。 人員の変動・コロナ過5類移行で環境の変化が有る為、大変な部分はあるりますが、PDCAサイクルを回して取組んで頂きたい。
環境経営目標の変更の有無	社会環境、人員の変化に応じた目標数値は大変とは思いますが、PDCAサイクルを回して取組んで頂きたい。
要求事項の変更の有無	変更はありません。
全体評価	2022年度はコロナ過での環境負荷の数値は、取組内容によって大きく影響を及ぼし 2023年度はコロナ5類移行で前年数値との変動が大きくなっており その様な状況で目標設定は難しいところはあると思いますが、次年度2024年度は 全部署、変化点(特例)除き数値目標をリセットしてスタートラインを同じにして、 2022年度;2023年度など基準として向こう3年間目標設定を行って下さい。 新たな目標・計画を立て目標達成に向けて各部署活動して頂きました。



**段ボール事業部戸畑工場**  
**2023年度版**  
活動期間：2023年4月～2024年3月  
**EA21環境経営レポート**  
太陽インダストリー株式会社

